

第1学年 生活科学学習指導案

日時 平成27年11月20日(金) 5, 6校時
 児童 1組 男14名 女17名 計31名
 2組 男14名 女16名 計30名
 授業者 1組 新田 厚子
 2組 千田 博子

1 単元名 「つくろう あそぼう」(新編あたらしいせいかつ上 東京書籍)

2 単元について

(1) 児童について

生活科の学習に対する意識調査では、ほとんどの児童が生活科の学習に興味・関心をもって取り組んでいる。一方、気付いたことを書いたり、話したりすることに苦手意識を持っている児童が数名おり、表現することに難しさを感じていることがわかる。

本単元にかかわる事前調査によると、自然物を使った遊びは、ほとんどの児童が経験しているが、自然物や身近な物を使って遊ぶ物をつくったり、みんなで遊んだりする経験は個人差がある。

友達とのかかわりについては、互いに遊び方を教えたり、一緒に遊んだりするようになってきた。しかし、友達の気付きと自分の気付きを比べながら見たり聞いたりすることや、友達のよさを自分に取り入れ、もっといいものにしようとする意識はまだ十分とは言えない。

(2) 教材について

本単元は、小学校学習指導要領生活科の内容(6)「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気付き、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。」を踏まえて設定したものであり、2年生での身近にある物を使って、動くおもちゃを作って遊ぶ活動につながるものである。

本単元では、季節の変化を味わいながら、秋の自然を利用して楽しく遊び、遊びの面白さや自然の不思議さに気付き、安全に気を付けてみんなで遊びを楽しむこと、自分たちの生活を楽しむことをねらいとしている。

(3) 指導にあたって

単元の展開にあたっては、第1次で、前単元の「たのしいあきいっぱい」で集めた木の実などに十分に触れさせ、形の特徴に気付かせることによって、児童がおもちゃや楽器づくりへの思いや願いがもてるようにしていきたい。

第2次、第3次では、つくったり、遊んだりする体験活動や表現活動を繰り返し取り入れていく。自然に繰り返しかかわり、特徴をとらえたおもちゃをつくりあげていくことを通して、科学的な見方や考え方の基礎を養っていきたい。

また、友達と一緒に活動したり、気付きを交流したりすることで、友達と一緒に遊ぶ楽しさや自分や友達のよさを味わわせていきたい。

3 単元の系統性

生活科		3年	4年	5年	6年
1年	2年				
・つくろう あそぼう	・作って ためして	・風やゴムで動かそう ・じしゃくにつけよう ・つくってあそぼう	・とじこめた空気と水		

4 単元の目標

身近な自然物や、身の回りにあるものを使って、おもちゃを工夫してつくったり、遊び方を工夫したりして、遊びの面白さや自然の不思議さに気付き、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。

5 単元指導計画 (10時間扱い)

次	時	主な学習活動	評価			指導上の留意点 〔主な手立て〕	
			関	思	気		
第1次 おもちゃをつくろう	1 (2組本時)	<ul style="list-style-type: none"> 秋の自然物を使って遊ぶ。 つくってみたいおもちゃや楽器について話し合う。 	○			【関】 自分たちで集めた木の実で、楽しく遊んだり、自分のつくってみたいおもちゃや楽器について発言しようとしている。 (行動観察・発言・記録)	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで集めた自然物を触ったり、遊んだりして意欲を喚起させる。 〔手立て1〕
	2 (1組本時)	<ul style="list-style-type: none"> 秋の自然物を使って、おもちゃや楽器をつくる。 つくったおもちゃや楽器で遊ぶ。 		○		【思】 集めた自然物の中から使ってみたいものを選び、試したり見立てたりして、工夫しながらおもちゃや楽器をつくっている。 (行動観察・記録・作品)	<ul style="list-style-type: none"> おもちゃをつくり、試したり遊んだりを繰り返して、つくることの面白さを実感させる。 〔手立て2〕
	3						
	4 5	<ul style="list-style-type: none"> 自分がつくったおもちゃや楽器のことを、友達と教え合う。 おもちゃや楽器を改良したり、種類を変えておもちゃをつくったりして楽しく遊ぶ。 		○	○	【思】 自分の工夫したところを友達に話したり、友達から聞いた工夫を自分のおもちゃや楽器で、試したり、改良したりしている。 (発言・行動観察) 【気】 秋の自然物を使って、おもちゃや楽器をつくることの面白さに気づいている。 (発言)	<ul style="list-style-type: none"> つくったおもちゃを友達と比べる場を設定し、互いのおもちゃの共通点や相違点に着目して、自分のおもちゃの改良の視点をもてるようにする。 〔手立て2〕 つくったものを紹介し合い、みんなで楽しく遊ぶ。 〔手立て3〕
第2次 みんなであそぼう	6 7	<ul style="list-style-type: none"> 同じ種類のものをつくった児童どうしでグループをつくり遊び方を話し合う。 遊び場の準備をし場所やルールを確認する。 		○		【思】 実際に遊ぶ中でみんなが楽しく遊べるように考え、遊びのルールや約束を工夫している。 (発言・行動観察)	<ul style="list-style-type: none"> 「みんな」「楽しい」をキーワードに、話し合いをさせる。 〔手立て2〕
	8 9	<ul style="list-style-type: none"> 試しに遊んでみてよかったところや改良したほうがよいところを話し合う。 楽しかったことや工夫したことなどを学習シートに書き、紹介し合う。 			○	【気】 友達のおもちゃや楽器には自分のものとは違うよさがあることに気付いている。 (行動観察・記録)	<ul style="list-style-type: none"> つくり方や遊び方の工夫したところをお互いに話し、お互いのおもちゃのよさを教え合う。 〔手立て3〕
第3次 いっしょにあそぼう	10	<ul style="list-style-type: none"> 2年生をおもちゃ広場に招待する。 	○			【関】 2年生に進んでかわり楽しませようとしている。 (行動観察)	<ul style="list-style-type: none"> 2年生を招待し達成感をもたせる。 〔手立て3〕

6 授業1 (5校時) の学習指導 2組 (1/10)

(1) 本時の目標

自分たちで集めた木の実の遊びを通して、自分がつくりたいおもちゃや楽器について興味をもつことができる。

(2) 本時の指導にあたって

〔手立て1〕おもちゃや楽器づくりの意欲をもたせるために、自分たちで集めたどんぐりやまつぼっくりなど、秋の自然物に触れさせ、回したり、並べたりして自由に遊ばせる。自然物の形を活かして遊んでいる児童を取り上げ全体に広げ、特徴を活かした遊びにも目を向けさせるようにする。また、自ら進んで楽しく活動できるように、教師がつくったおもちゃを提示したり、資料となる本を提示したりして製作への関心を高めるようにする。

(3) 本時の展開

	学習内容・活動	○教師の働きかけ ・児童の反応	指導上の留意点	備考
5分	1 前単元の活動を振り返る。	○秋を探しに行ってみつけたことや、どんな遊びをしたか思い出しましょう。 ・どんぐりやまつぼっくりを見つけた。 ・飾りをつくった。 ・人形をつくった。	・写真など様子が分かるものを提示する。	【準備物】 ・写真
	2 学習課題を確認する。			
	あつめた きのみで あそぼう。			
5分	3 秋の自然物を使って遊ぶ。	○集めた木の実に遊んでみましょう。 ・転がしてみよう。 ・回してみよう。	・自分たちで集めた自然物に触ったり、遊んだりして意欲を喚起させる。 〔手立て1〕	・秋の自然物
	4 どんな遊びをしたか紹介する。	○どんな遊びをしたか発表しましょう。 ・どんぐりを回して遊びました。 ・まつぼっくりを転がして遊びました。		
	5 おもちゃで遊ぶ。	○先生がつくったおもちゃや楽器で遊んでみましょう。 ・こま ・けんだま ・まといれ ・さかなつり ・やじるべえ ・マラカス		
			・評価【関】 自分たちで集めた木の実に遊んだり、自分がつくってみたいおもちゃや楽器について発言しようとしている。 (行動観察・発言・記録)	・学習シート

30分 振り返る	6 つくりたいおもちゃや楽器を発表する。	○どんなおもちゃや楽器をつくりたいか発表してもらいます。 ・どんぐりはよく回りそうなので、こまをつくりたいです。 ・まつぼっくりを使ってけん玉をつくりたいです。		
	7 活動を振り返る。	○今日の振り返りをしましょう。	・感想や友達に教えてもらったことを発表させる。	
10分	8 次時への見通しをもつ。	○次の時間からは、おもちゃづくりをしていきます。		

(4) 板書計画

かだい

あつめた きのみで あそぼう

写真

・どんぐり
だんごやさん

・まつぼっくり
キャッチボール

写真

・はっぱ
かざり
にんぎょう

つくりたいもの

こま

けんだま

(4) 板書計画

かだい

きのみをつかって、おもちゃやがつきをつくろう。

【つくってみたいな】

- ・どんぐりごま
- ・まつぼっくりでけんだま
- ・マラカス
- ・たいこ

やくそく

- ・かつどうは、□まで (○じ ○ふん)
- ・つくる→あそぶ→つくりなおす→あそぶ
- ・こまったら、ともだちやせんせいにそうだんする。

ふりかえり

『できたよ』

『すごいね』

『こまったな』